

第150期ご報告

2014年4月1日～2015年3月31日



**NEWS
FLASH**

2014年度、売上高8,252億円、営業利益1,067億円
いずれも過去最高記録を達成

売上高1兆円企業を目指し、中期経営計画 Nitto-2017をスタート

Nittoグループは、中間材料メーカーとして変化する市場環境の動きをいち早くキャッチしながら、自ら変革を遂げることで世界中のお客様に様々なソリューションを提供してきました。現在では、約70の業界に13,500の製品を提供しています。新しいものを生み出し続けるとの思いを込めたブランドスローガン“*Innovation for customers*”の下、これからも常にお客様を第一に考えていきます。

具体的な施策の一つとして、研究開発では、日本、アメリカ、シンガポール、スイスに次ぐ研究センターを2014年10月に中国青島市に設立しました。各エリアの特徴を活かした新規テーマの

創出とグローバルなR&D体制の一層の強化を行っていきます。

Nittoグループは2018年に100周年を迎えます。将来に向け中期経営計画を策定し2015年度からスタートさせました。安全を全てに優先するとの考えの下、事業の成長、質の向上、人財の成長を進め、社会から信頼され成長し続ける企業の実現を目指します。

株主のみなさまにおかれましては、従来同様ご支援ご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

TOP
MESSAGE

株主のみなさまにおかれましては、日ごろからのご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2014年度業績について

主力のエレクトロニクス業界では、情報機能材料の薄型光学フィルムによる新たな価値を提供しました。この製品は高精細パネルの画質を損なわない特性をもち、かつ極めて薄いためスマートフォン等に採用が進みました。

自動車業界向けの材料では、「三新活動」と呼ぶ新用途開拓、新製品開発、新需要創造の三つの「新」を掲げたNitto固有のマーケティング活動により、制振補強材料やランプ用内圧調整部材などがグローバルに売上げを拡大しました。

また、中長期での成長を目指しているメディカル分野では、分子標的ドラッグ・デリバリー・システム技術を用いた肝硬変治療薬において2014年9月から米国にて患者様に治験を開始し、今後の事業化に向けて着実に計画が進展しています。

売上高は8,252億円(2013年度比10.1%増)、営業利益は1,067億円(2013年度比47.2%増)となりました。

2015年度の取り組み

エレクトロニクス業界では、スマートフォンやテレビ向けの薄型光学フィルムの普及を進め、今後 活発な製品化が見込まれるウェアラブル端末への実績化も進めていく予定です。プリント回路においては、強みである微細回路製品を供給し、ハードディスクドライブの高容量化やスマートフォン用パネルの高精細化のニーズを捉えていきます。



インダストリアルテープにおいては、欧米など市場が拡大する自動車業界の需要を取り込んでいきます。特に、カーエレクトロニクス分野では、エレクトロニクス業界で築いてきた技術を活かした新たな価値提供を図ります。また、世界各地でエリア固有のニーズにマッチした製品の提供によりトップシェアを獲得するエリア・ニッチ・トップ戦略では、トルコ発の紙おむつ用材料や米国発の航空機用材料などを提案しながら、次々に新しいテーマを立上げていきます。

メディカル&メンブレンにおいては、事業基盤の強化と並行して新分野への取り組みを進めることで、事業の拡大を図っていきます。特にメディカルでは、日米で核酸医薬の受託合成ビジネスの拡大に注力します。

以上により、2015年度業績は、為替レート1US\$=118円を前提として売上高8,700億円、営業利益1,200億円を計画しています。

配当金について

Nittoグループは、株主のみなさまへの利益還元を、経営の最重要課題の一つとして位置付けています。配当金につきましては、「ものづくり」をする会社として、研究・開発、生産に関わる積極的な先行投資などの必要性や、財務状況、利益水準、配当性向などを総合的に勘案します。

2014年度は、過去最高の利益水準を達成したことをふまえ、期末配当を1株につき65円、年間配当は120円と2013年度比で1株あたり20円の増配とさせていただきます。また、2015年度の年間配当は利益状況と設備投資などを総合的に勘案して、2014年度比で1株あたり10円の増配となる130円を予定しています。

中期経営計画

最終年度の2017年度に、売上高1兆円、営業利益1,350億円の達成を目標とした2015年度から3か年の中期経営計画「Nitto-2017」を策定しました。

内容につきましては次ページにてご説明いたします。

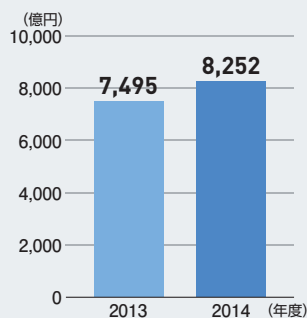
代表取締役 取締役社長
CEO・COO

高崎 秀雄

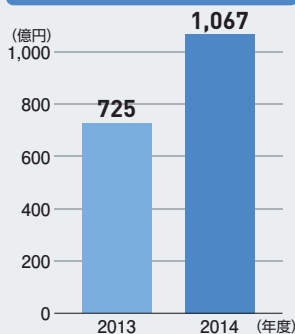
業績ハイライト

※2014年度より国際会計基準 IFRSを適用しており、2013年度数値は遡及処理後のものです。

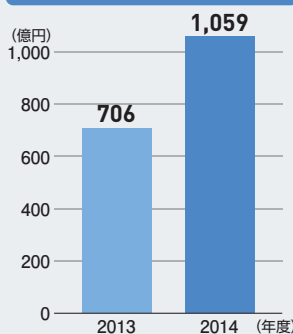
売上高



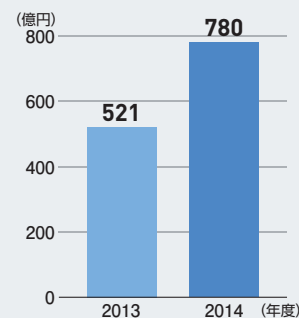
営業利益



税引前利益



当期利益



海外売上高比率

72.8%

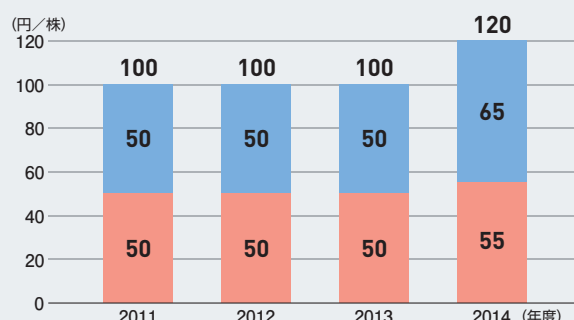
海外売上高 6,008億円
国内売上高 2,244億円

自己資本比率

71.5%

自己資本 6,120億円
総資産 8,554億円

1株あたり配当金

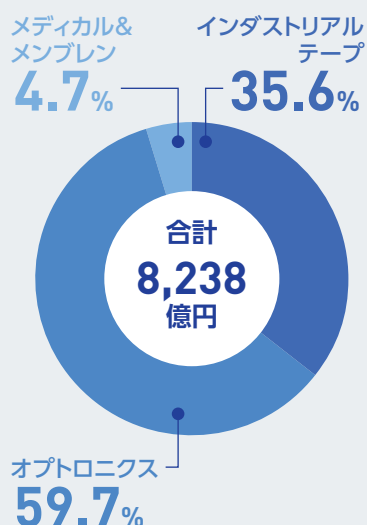


ポイント

- 1 スマートフォン向けの薄型光学フィルムの新製品や回路材料等が増収増益を牽引しました。
- 2 自動車材料は、欧米で制振補強材料やランプ用の内圧調整部材等の売上げが拡大しました。
- 3 配当は2013年度比で20円の増配となる120円といたしました。2015年度は2014年度比で10円の増配となる130円を予定しています。

セグメント解説

●セグメント別売上高構成比(※)



※決算短信のセグメント情報「外部顧客からの売上収益」における構成比です。

インダストリアルテープ

当期売上高 2,935億円



自動車材料と基盤機能材料の2つのサブセグメントから構成されています。2014年度、自動車材料では制振補強材料(NVH※)やランプ用の内圧調整部材などが売上げを牽引しました。基盤機能材料では構造改革による収益性改善を行いながら、エレクトロニクス業界向け両面テープの拡販を行いました。

※NVHは、Noise (騒音) Vibration (振動) Harshness (不快さ)を抑制する製品の呼称です。

オプトロニクス

当期売上高 4,919億円



情報機能材料、プリント回路、プロセス材料の3つのサブセグメントで構成されています。2014年度はスマートフォン市場の拡大の波を捉え、薄型光学フィルムや微細回路製品等が売上げを拡大しました。

医療&メンブレン

当期売上高 383億円



医療とメンブレンの2つのサブセグメントで構成されています。2014年度、医療は、米国における核酸医薬の受託合成サービスの拡大に注力しました。メンブレンは、アジアにおける工場廃水再利用等の交換案件を積極的に受注しました。

中期経営計画 Nitto-2017

【中期経営計画の3つの重点項目】

〈事業の成長〉

既存の事業領域において売上と利益の最大化を図りながら、グローバル・ニッチ・トップやエリア・ニッチ・トップ戦略に沿った製品を拡充します。また、グリーン(環境関連)、クリーン(新エネルギー関連)、ファイン(ライフサイエンス関連)の領域では、多軸化戦略を中心に新たなテーマを推進します。

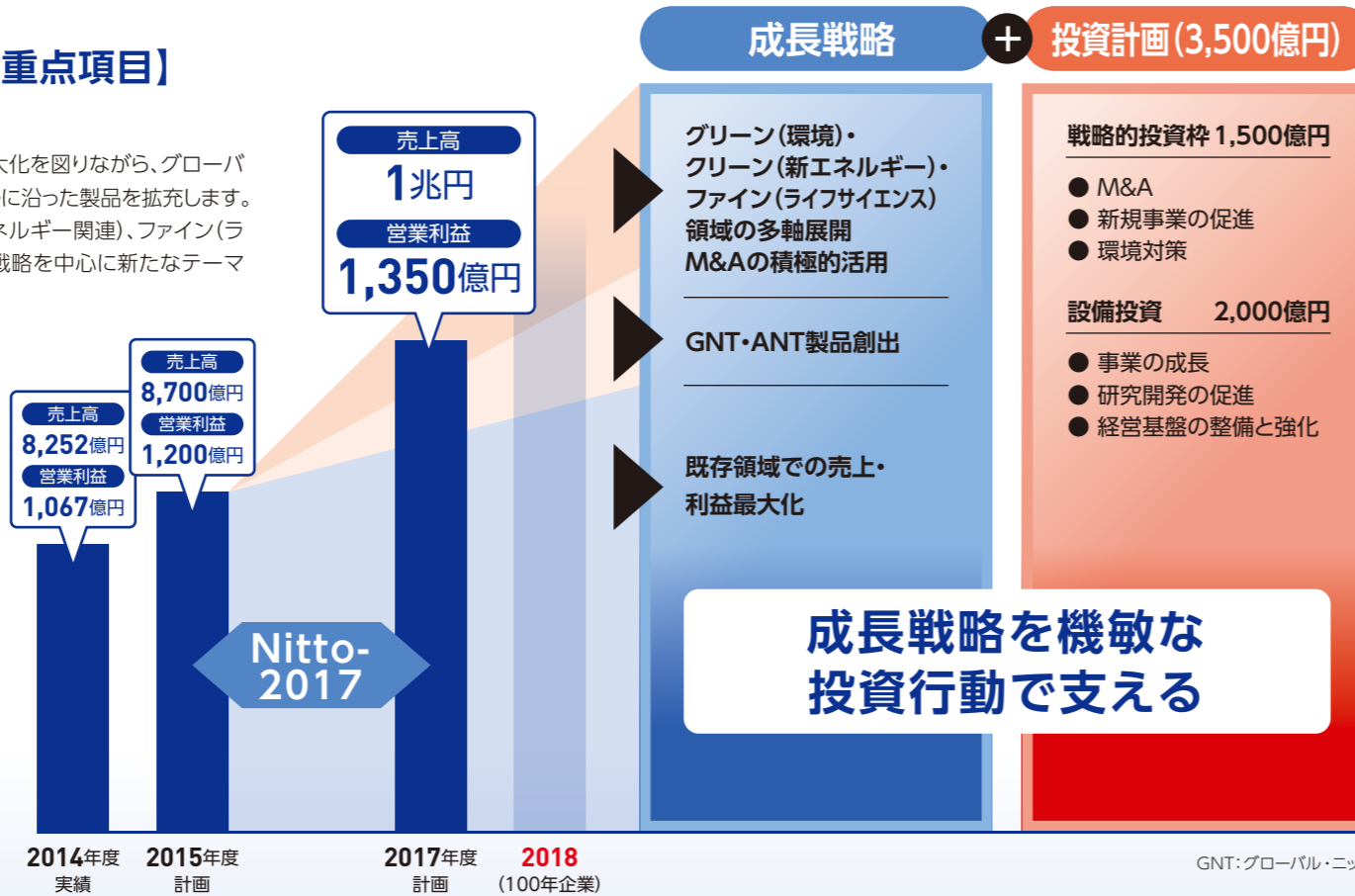
この成長戦略を支える投資計画として、3年間で設備投資2,000億円、M&Aや環境対策等の戦略的投資1,500億円の合計3,500億円を予定しています。

〈質の向上〉

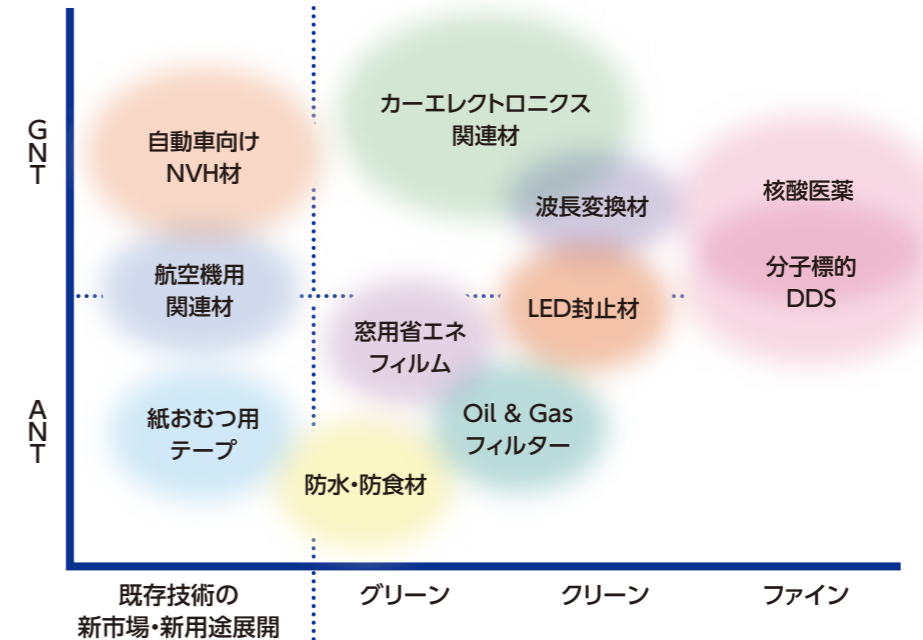
「事業の成長」と一体化した「質の向上」を目指します。安全を最優先する考えの下、垣根の無い生産性改革を推進します。

〈人財の成長〉

多様な人財が、個々のスキルを最大限に発揮して世界中で活躍できる仕組み作りを推進します。



成長の原動力は各領域での新製品や新事業 事業領域毎にGNT・ANT候補製品のステージアップを図る



GNT:グローバル・ニッチ・トップ (Nitto登録商標)、ANT:エリア・ニッチ・トップ (Nitto登録商標) グリーン:環境貢献、クリーン:新エネルギー、ファイン:ライフサイエンス

自動車業界での成長戦略

既存製品の拡大

- 自動車一台あたりのNitto製品の搭載点数の増加を図ります。
- 日系自動車向けに加えて、欧米自動車向けの採用活動を促進します。
- 自動車の軽量化に伴う材料変化を捉え、既存の補強材やテープ製品の機能向上を図ります。



新製品の展開

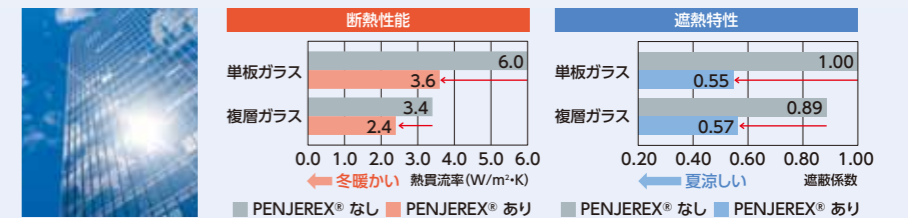
- エレクトロニクス業界で築いてきた技術やネットワークを活かし、カーエレクトロニクス分野の安全、環境、快適、意匠の領域で新製品を提案します。
- 2015年1月から、事業横断的な組織「カーエレクトロニクス事業推進室」を立ち上げて、スピード感ある対応を開始しています。
- 環境の領域では画期的な新製品の発表を年内に計画しています。

Green Clean Fine 領域での成長戦略

Green(環境関連)

製品 窓用 遮熱・断熱フィルム

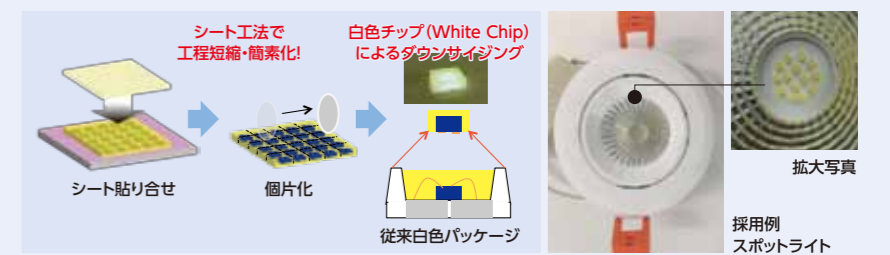
遮熱と断熱の二つの効果を兼ねており、室内を夏は涼しく冬は暖かくします。2014年度に国内で住宅・公共施設向けに販売を開始しました。今後は、グローバルに拡大していきます。製品名はPENJEREX®です。



Clean(新エネルギー関連)

製品 LED封止用シート

液状の封止材を用いてLEDをパッケージ毎に封止するのが一般的な工法ですが、封止材をシート化して提供することで、封止工程を一括的に行うことができます。工程の大幅な短縮とLEDパッケージの小型化に貢献します。LED照明や車載用LEDへの普及を進めます。



Fine(ライフサイエンス関連)

製品 分子標的ドラッグ・デリバリー・システムによる肝硬変治療薬

キャリアに入った薬剤を標的化剤が患部まで直接届けて治療させる方法です。2014年9月から米国にて患者様に治験を開始し、今後の事業化に向けて着実に計画が進展しています。



製品 紹介

粘着式クリーナー「コロコロ®」が 商標登録から30年を迎えました。



「コロコロ®」は、Nittoの粘着技術を応用して開発した粘着式のクリーナーです。粘着テープを逆巻きにしてゴミを捕獲するという発想を基に開発されました。発売以来、本体で約4300万本以上の販売実績を誇るロングセラーのアイテムになっています。現在、「コロコロ®」として、皆様に親しまれていますが、1983年の発売時は、「粘着カーペットクリーナー」という品名でした。

商品の特徴や、お客様からの「コロコロ®の商品を購入したい」というお問い合わせの声を反映して商品名「コロコロ®」で、登録商標を取得しました。以来30年、ご家庭や事務所などで幅広くお使いいただいています。

また、2010年には、一般社団法人 日本記念日協会より「コロコロ®」の語呂から5月6日は「コロコロの日」として認定されています。

現在では、カーペットだけでなく、フローリングや畳にも使える「コロコロ®フロアクリン」やスマートフォン表面の皮脂を除去する「指紋コロコロ®ミニ」など、生活スタイルの変化や用途に合わせて技術革新を重ね、様々なバリエーションをラインナップしています。住まいと暮らしに関わる製品を展開しているNittoのグループ会社株式会社ニトムズ(本社:東京都)で製造・販売しています。



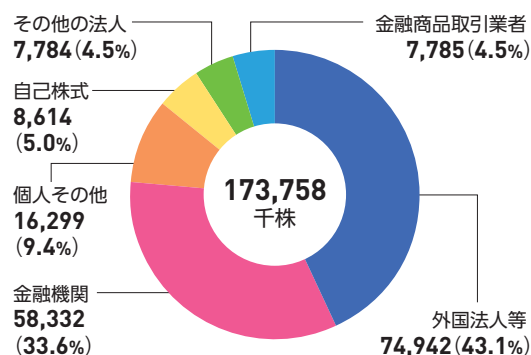
指紋コロコロ®ミニ

■ 株式の状況 (2015年3月31日現在)

発行済株式の総数 173,758千株
株主数 35,014名

所有者別分布状況

(単位:千株)



■ 株主メモ

証券コード 6988(業種:化学)
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当受領株主確定日 3月31日(期末配当)、9月30日(中間配当)
定時株主総会 6月
単元株式数 100株
上場金融商品取引所 東京証券取引所
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話:0120-094-777(通話料無料)

※株式に関するお手続きについては、当社ホームページをご覧ください。

<http://www.nitto.com/jp/ja/ir/stock/procedure/>

Nitto

日東電工株式会社 〒530-0011 大阪市北区大深町4番20号 グランフロント大阪 タワーA 33階

UD
FONT
by MORISAWA